

夕張を観る



三菱大夕張鉄道保存車両

1987(昭和62)年に廃止された三菱石炭産業大夕張鉄道線で使用されていた客車・ラッセル車・石炭車が南大夕張駅跡地に保存展示されています。詳細はサイトを御覧ください。



幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば

1977(昭和52)年公開、第1回日本アカデミー賞最優秀作品賞をはじめ数多くの国内映画賞を受賞した名作「幸福の黄色いハンカチ」のラストシーンのロケ現場を再現した施設。詳細はサイトを御覧ください。



夕張シューパロダム



2015年(平成26)に完成した国内最大級の多目的ダムです。ダム管理事務所では、ダムの解説パネルなどが展示されており見学可能です。工事等で立入禁止の場合もありますので、事前に見学可能期間をご確認ください。
住所：夕張市南部青葉町573番地
お問い合わせ：夕張川ダム総合管理事務所
TEL：0123・55・5151



滝の上発電所



1925年(大正14)1月に北海道炭礦汽船株式会社が自家発電用施設として建設。炭鉱遺産の証といえます。2016年(平成28)に改修し、レンガ造りの旧建屋は遺構土木遺産に認定。滝の上公園内に有り、見学は外観のみ可。公開期間・4月下旬～11月初旬。
住所：夕張市滝の上5番地
お問い合わせ：北海道企業局 夕張川発電管理事務所
TEL：0123・57・2542



夕張の歴史を知るガイドツアー

一般社団法人清水沢プロジェクト

清水沢エリアを中心に炭鉱遺産などをご案内。オーダーメイドガイドも実施。
TEL：0123・57・7463 <https://www.shimizusawa.com/>



夕業会

ゆうばり市内ガイドを実施しております。事前にお問い合わせください。
TEL：090・3019・1735 代表：松宮

夕張へのアクセス

新千歳空港から → 55km

札幌(大通公園)から → 60km

車をご利用の場合(一般道)

札幌(大通公園)	60km	岩見沢	38km
小樽	98km	富良野	95km
新千歳空港	55km	旭川	140km
苫小牧	74km	帯広	135km

バスをご利用の場合

【夕鉄バス/中央バス】札幌から約90分

鉄道をご利用の場合

【JR石勝線】新夕張駅下車、夕鉄バスに乗り継ぎ



夕張に泊まる



夕張フォレストコースホテル
新鮮野菜を味わい、農業体験のできるYH
住所：夕張市沼ノ沢554
お問い合わせ：0123・57・2535



ビジネスホテルYUUBARI 夕張市南清水沢4丁目60番地 0123-59-7111

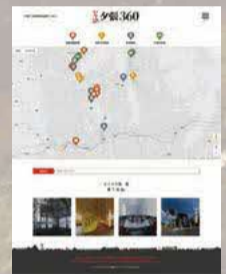
夕張360°

<https://www.yubari360.com/>



夕張360°について

夕張360°(ゆうばりサンロクマル)は、360°VRカメラで撮影した夕張の風景をPC、スマホから専用アプリが無くともご覧いただけるWEBサイトです。記憶に残っている夕張の風景の今の姿を見たり、夕張へ直接足を運ぶのが難しい方にも今の夕張の姿を見て頂いたり、はじめて夕張を訪れる前の予習にご活用ください。



令和4年9月1日発行 発行元：(一社)夕張市観光プロモーション
TEL：0123・57・7652

資料・写真協力：夕張市石炭博物館 三菱大夕張鉄道保存会 (一社)清水沢プロジェクト
夕張の記憶ミュージアム JR北海道新夕張駅
奥山道紀 石田司 岡垣幸一 伊藤保則 高橋勇治 松原久 青木隆夫(敬称略)
デザイン：ハブデザインズ

ゆうばり 鉄道廃線跡マップ

夕張を支えた鉄道の足跡



廃線跡へ訪れる方へのご注意

立入禁止場所や私有地内へは立ち入らないで下さい(私有地か否かの判断がつかない場合も)。路上駐車は緊急車両等の通行の妨げになります。交通事故の誘発にもつながりますので、近くの駐車場に停めるなど、ルールとマナーを守りましょう。また、野生生物には充分ご注意ください。

「炭鉱都市夕張」を支えた鉄道



近代日本において、その発展を大きく支えてきた石炭産業。

かつて蝦夷地と呼ばれたこの北海道には、豊富な石炭が大量に埋蔵されていました。人々は資源を求めて未開の地へと分け入り、石炭を掘り出しました。空知地域、とりわけ夕張は良質で豊かな石炭資源が在ったことから、日本有数の炭鉱都市と呼ばれるまでに成長を遂げ栄華を極めました。かつて一面の原野だった場所には瞬く間に鉄道が敷かれて街がつくられていったのです。街を南北に走る鉄道は大量の石炭を日本全国に運び出し、今日に至る日本経済の発展を支える原動力となり、また地域の人々にとって、無くてはならない生活の足として親しまれてきました。かつての炭鉱都市としての名残は鉄道の廃線とともに失われつつありますが、夕張の鉄道の歴史とその背景を辿ると、夕張の姿と新たな魅力を発見できるのではないのでしょうか。

夕張市石炭博物館



石炭博物館では、まちがこれまで辿ってきた歴史と石炭産業との関わりを学ぶ解説展示や実際に稼働する採炭機械の様子をご観いただくことで炭鉱についての理解を深めていただけます。なお、2019年4月に発生した火災の影響により模擬坑道は見学できませんのでご了承ください。

営業期間や料金等の詳細につきましては、公式サイトなどで最新情報をご確認ください。

夕張市石炭博物館公式サイト：<https://coal-yubari.jp/>
住所：夕張市高松7番地1号
お問い合わせ：TEL：0123・52・5500



炭都夕張を走った主な鉄道路線

JR夕張支線 開業：1892年(明治25年) 廃止：2019年(平成31年) 起点：新夕張駅 終点：夕張駅 路線延長：16.1km

1892年(明治25年)11月1日、北海道炭礦鉄道の室蘭線支線として追分～夕張間で開業。
初代夕張駅は現在の夕張神社下付近
1906年(明治39年)10月1日、北海道炭礦鉄道が国有化に伴い国有鉄道に
1909年(明治42年)10月12日、国有鉄道線路名称制定に伴い、追分～夕張間・紅葉山～楓間が夕張線に名称変更
1949年(昭和24年)6月1日、日本国有鉄道(国鉄)に移管
1981年(昭和56年)7月1日、登川支線が廃止。10月1日、石勝線開業(千歳空港～新得)に伴い石勝線の夕張支線となる
1987年(昭和62年)4月1日、国鉄分割民営化。JR北海道に全線承継
2019年(平成31年)4月1日、夕張支線(新夕張～夕張間)を廃止



左上：初代夕張駅 1985年夕張線終端部には気動車庫が設置されていた
右上：二代目夕張駅 1985年夕張鉄道旧夕張本町駅跡に移転
左下：三代目夕張駅 2018年1990年にホテルマウントレースイ前に移転

夕張鉄道 開業：1926年(大正15年) 廃止：1975年(昭和50年) 起点：野幌駅 終点：夕張本町駅 路線延長：53.2km

1926年(大正15年)10月14日、栗山～新夕張(後に夕張本町に改称)間開業
1930年(昭和5年)11月3日、野幌～新夕張(後に夕張本町に改称)間全線開通
1971年(昭和46年)11月15日 鹿ノ谷～夕張本町間廃止。栗山～鹿ノ谷間旅客営業廃止
1974年(昭和49年)4月1日、野幌～栗山間旅客営業休止、野幌～鹿ノ谷間の全線を北海道炭礦汽船に譲渡
1975年(昭和50年)4月1日、野幌～鹿ノ谷間運輸営業廃止



左：夕張鉄道14号 鹿ノ谷
右：栗山・夕張本町間旅客最終日の夕張本町駅 1971年11月14日

三菱大夕張鉄道 開業：1911年(明治44年) 廃止：1987年(昭和62年) 起点：清水沢駅 終点：大夕張炭山駅 路線延長：17.2km

1911年(明治44年)6月1日、清水沢～二股(後に南大夕張に改称)間開業
1929年(昭和4年)6月1日、南大夕張～通洞(後に大夕張炭山駅に改称)間開業
1973年(昭和48年)12月16日、南大夕張～大夕張炭山間廃止
1987年(昭和62年)7月22日、清水沢～南大夕張間廃止



左：三菱大夕張鉄道 大夕張炭山での石炭列車組成 1969年
右：大夕張駅に進入する混合列車 1972年

北炭真谷地専用鉄道

開業：1913年(大正2年)12月15日 廃止：1987年(昭和62年)10月13日 起点：沼ノ沢駅 路線延長：4.4km

主夕張森林鉄道

開業：1934年(昭和9年) 廃止：1961年(昭和36年) 起点：大夕張炭山駅 路線延長：15.4km

下夕張森林鉄道

開業：1945年(昭和20年) 廃止：1966年(昭和41年) 起点：南大夕張駅 路線延長：27.2km

下夕張森林鉄道夕張岳線

開業：1946年(昭和21年) 廃止：1964年(昭和39年) 起点：南大夕張駅 路線延長：16.3km

遠幌加別森林鉄道

開業：1940年(昭和15年)9月1日 廃止：1944年(昭和19年) 起点：遠幌駅 路線延長：8.5km

福住人車 運行開始：1945年(昭和20年) 廃止：1974年(昭和49年) 中間駅乗降所2箇所



左：南大夕張での石炭積込 1987年頃
右：9600形三重連 1971年8月22日